第7回 吹田市地域公共交通会議 議事要旨

日時：2021年11月18日（木） 10：00～12：00

場所：メイシアター 3階レセプションホール

※新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、ウェブでの会議も併用

1. 開会

事務局（樋原氏）

第7回吹田市地域公共交通会議開会あいさつ。

2. 議事

○事務局

《資料2を説明》

○会長

事務局に確認です。資料2をパブリックコメントの回答とすることを委員皆様に確認してもらい、交通会議の回答として市ホームページに掲載することを承認いただくのか。

○事務局

はい、その通りです。

○会長

それではこの回答でよいかどうかも踏まえまして、皆様からご意見をいただきたい。

回答について、ルート・バス停のところで、「警察の同意」とあるがこの書き方でよいか。

○委員

同意というより協議。バス停、運行ルート然り、バス停の設置位置など、署と警察本部との協議になるので、「同意」というより「協議」という書き方にしていきたい。

○会長

表現については、警察と調整いただければと思う。

○委員

この回答はどのような形で公表されるのか。

○事務局

パブリックコメントの意見募集と同様に、回答も総務交通室のホームページにあげる予定である。

○会長

ルートや車両に関する事などの意見について、これまでの議事録を読んだり、経緯を見たりすれば、検討の結果できなかったことがわかるが、いちいち議事録や資料等を見返すことは難しい。回答には「過去に」とあるが検討してきたができなかったことをもう少し丁寧に説明をしないといけないところがあるかと思う。利用料金も同様に、安くということは確かに重要だが、すでに阪急バスのランドパス65などあり、割引制度としてはランドパス65を利用させていただくなど、丁寧な説明をお願いしたい。

ご意見は匿名であるので、ご意見をいただいた方に直接お教えすることができない。ホームページに回答を載せて見ていただくことしかできないので、丁寧に説明を書いていただくことを事務局にはお願いしたい。

○委員

概ねこの回答でいいが、個別で回答が必要な部分があると思う。例えば、「小さい車で」に対しては、回答では直接的に回答されていないので、丁寧に回答していただければと思う。

また、他の意見で多くみられるのが、この運行後も残る空白地の指摘については、別の会議で空白地の方は引き続き議論を進めていくなど、直接的な回答も記載していただきたい。

○事務局

少し説明が足りていないところもあると思うので、調整させていただき、最終回答とさせていただきます。

空白地に関しては、市全体の交通のことは「公共交通協議会」で行っている。空白地の取り扱いは、すごく小さいところまで手当するのも含め、協議会の方で検討していきたい。

○会長

協議会側が少し宿題をいただいたようになりました。

○事務局

《資料3と資料4を説明》

○委員

広報に関して、資料4 p6の③利用案内のPR対象について、沿道利用者やバス利用者と右側に書いているが、できたら該当している地区の住民に配布することはできないか。

地域や市から色んな案内をもらうが、自分のところに来ないとなかなか認知ができない。せっかく2月から試験運行が行われるので、広く啓発して、是非とも皆さんに認知してもらい、広く利用していただきたい。利用すると今後の要望にもつながることも出てくると思うので、周知は広く行っていただきたい。

資料3 p4の住民アンケートについて、千里山駅西側地域の2000世帯に配布とある。西側地域、千三地区と千里新田地区を合わせて所帯数は、全部で1万3千から4千世帯ある。その中で2000世帯というのは、アンケートを取るには少ないのではないかと。少し検討してもらえないか。

○会長

事務局にお聞きしたいのは、「地域住民」と「沿道住民」の2つの言葉使いがあり、「沿道住民」とはどこをさしているのかということと、沿道住民への配布方法について、もっと個別に配らないのですか。

アンケートについては、少し私の方で回答させていただきます。

調査には全数調査とサンプル調査がある。サンプル調査は、全世帯が対象ではなく、そこからいくつか抜き出してきて調査を行う。サンプル調査の場合は、数も大事だが地域全体からきちんと地域を混ぜてとれているのが大事で、きちんと混ぜて取っていると数百で結果をきちんと出すことができる。アンケートの回答が3割から4割の回答率と考えると、2000部配布して少なく見積もっても600得られれば、社会調査方法的には満足できる回収数になるのではないかと考えている。全数調査ではないが、満足できる結果を得られるのではないかと、アンケートをやるものとして考えている。

○事務局

利用案内については、沿道住民とあるが、沿道と地域の方に配布する必要があると思っているので、資料の誤りです。申し訳ございません。

地域に配る際は、連合会長や自治会長の方々にご協力いただきながら配布することもあると思うので、その際にご相談させていただきたい。

沿道住民というのは基本的には、バスが走る路線の沿道に住む方と考えている。

○会長

沿道は別途ポスティングされるイメージなのでしょうか。

私は、自治会の皆様にはお手数だが自治会の配布物と合わせてとっていた。そういう意味では自治会の配布物、12月、1月と各月で大丈夫ですか。年末年始がありますので、配布物のタイミングがあると思う。それぞれの自治会と調整して、そこに合わせないといけないと思う。

今回、コミバス通信は5回を予定と、そういう意味では少し多いということ、利用案内もある。そのあたりは整理し、地域住民の方にお配りいただくかどうかは大事なので、検討していただきたい。④についても沿道住民になっているので、地域住民ではないかと思う。

○事務局

そのあたりは整理しながら、連合、自治会の会長等々と相談させていただきたい。

○会長

連合自治会、自治会の方々、すみませんが、ご協力の方お願いいたします。

○委員

私は、沿道住民は、勝手に沿道はバスのルートに沿ったところと、そうするとパブリックコメントにもあった江坂3丁目や4丁目も入ると捉えた。地域住民は、自治会を通してということだが、自治会を通すと全住民に周知徹底できると考えている方もいるかもしれないが、最近は自治会に入らない方もすごく多い。回覧板は自治会加入者しか回らないし、掲示板もあるがこれも個数が少なく、なかなか周知徹底は難しい。

ルートの面でも停留所の面でもこれまでなかなか願いが叶わないとの思いがあったが、今日これをチラシやポスターなどを見せてもらって、やっと形になったという感じで、すごく嬉しく、早く隣近所にこのチラシをお見せしたいと思っている。

周知徹底について、希望は吹田市民全部にこのチラシを見ていただきたいが、せめて千里山西、沿道と地域の全世帯、住民に認知、お知らせしたい。そう思うと市報しかない。市報に挟み込みみたいなことはできないか。

利用案内の「バスに乗って出かけよう」で、千里山地域は公共施設の少ない地域ですが、千里山駅前には図書館がありますので、それは是非入れていただきたい。

○会長

ご指摘のように確かに自治会が必ずしもというところであるが、ご提案のあった市報でというのも対象地域のみを挟み込めるかとなると悩ましいところである。ご検討いただきたい。

○事務局

市報の挟み込みに関して、市報の2月号に掲載では、文字だけの掲載ではなくて、ルート等も乗せて、割と大きめの頁をいただきたいと広報と調整をしている。それを見ていただくと挟み込みと同じような効果があるのではないかと思う。

○委員

チラシの発行枚数について、自治会会員数なのか、地域住民数なのか、所帯数なのかを知りたい。市報に掲載するなら1ページくらいは使っていただきたい。活字だけならこの会議もそうだが気付かない。

地域住民は、2019年の実証実験が試験運行だと思っている。来年の2月から試験運行は、本格運行が始まると地域住民は思っている。そういう意味では、この試験運行で住民が盛り上げて、利用していかないとだめになることもあるということを知っていただく必要がある。

そういう意味でアンケートも大事であり、先ほどのアンケートでは2000とあった。特に利用者のアンケートは大事だと思う。利用者は500枚とあるが足りないのではないか。

アンケートの時期について、時期は利用者数を確認しながらというのが、ちょっとよく分からり

にくい。試験運行が始まってすぐなのか、一定落ち着いたところなのか、そのあたりを教えてください。

○事務局

実施時期は、我々もこれから広報をしていくが、はじめは利用者数が伸び悩むと思っている。少ない状況でアンケートをとってもいい結果が得られないと思っている。ある一定の運行期間をみて、それが半年後なのか、何か月後なのかということがあがるが、利用状況をみながらある程度周知されてきたという時期を見て決定をしたい。そのため「利用者数を確認しながら決定する」と記載させていただいた。

バス利用者アンケート調査の500部程度について、部数は検討の余地はあるかもしれないが、先ほど会長の方からもあったように、数百あればいいと私も認識しており、精度よく結果が得られる数の調査を行っていきたいと思っている。

○会長

チラシの印刷数について、配り方も含め検討するというのでしょうか。

○事務局

はい、そうです。

○会長

ご検討いただき、次回は運行開始の直前の第8回で、結果にはなるがご報告いただければと思う。

○委員

チラシは自治会中心ということなので、先ほど委員からのご指摘があったように、手に届かない場合もある。一番見られる可能性があるのが広報誌とポスターだと思う。ポスターには、バスの近接情報のQRがあるが、すいすいバスの情報のQRコードを載せていない。何か意図があるのか。

○事務局

特に意図はないです。全体のバランスの中でQRを入れるスペースがなかったというくらいです。

○委員

個人的には、スマホを使い慣れている方しか利用できないかもしれないが、つけることができるのであればつけた方がいいと思う。

今後の広報を考えたときに、それぞれの媒体別に表示するページは同じだが、QRからのアクセスが媒体別に数が見れば、今後の広報を行うにあたりどの媒体が効果的なのかということは、少なくともスマホを見て情報を取りに行きたいと思う人の数は把握できる。もしそういうことが可能であれば、そういう検証もしていったらいいのではないかと。

○事務局

今のご意見については検討していきたいと思う。

○委員

公共施設ではないですが、利用例のところに病院を入れなくていいのか。特に千里山病院は、緑地公園東口から歩いて行かれるところと思うが、いかがか。

○会長

利用例のところでは病院についても、図書館の記載と合わせて、ご検討いただければと思う。

ポスターについて、「小学生入学前のお子様は…」とあり、（0歳のお子様は無料です）との記載があるが、0歳というのは誤りですか。それとその下の「障がい者手帳アプリ、ミライ四角IDとなっていますが、この四角はありますか。

○事務局

先に障がい者手帳アプリについて、これはミライ「ロ（ろ）」です。ミライロIDです。
もう一つの0歳のお子様は無料というところは、確認させていただきたい。

○委員

東側は特に沿道ではないが、千里山駅を使う方も多し。千里山駅にバスが通ったことで、今までJRに出ていたが千里山駅を利用する方も多し、増えたと聞いている。こういうことも踏まえると東側にもかなり広報したいと思っている。チラシや利用案内の中に、阪急バスや他の公共交通との接続のご案内もあり、広く周知をしたい。

チラシについて、先ほども言われていたように「試験運行」と「本格運行」をよく間違えられる。前回の実証運行が試験だったと、そのあたりの文言の捉え方は、一般の方は詳しく捉えられないので、これはあくまでも試験であるということ、皆さんが利用して活用していただかないと本格運行にいないということをもう少し、チラシの中にも少し表記していただきたい。その方が試験運行に乗車しようと思う方が増えるのではないかと思う。

通信には書いており、たぶん掲示板にも張ると思うが、そこまで読み込む方は少ないと思うので、チラシにもそのように明記していただけたらと思う。

利用案内についても試験運行と同時くらいに配布予定なのか。そうすると明らかに本格運行ばかり見えてしまう。今の千里丘のすいすいバスの案内と何ら変わりなく、これはみどりでいい感じなので、是非とも皆さんに手に取って利用してもらいたいと思うが、そのあたり誤解が生じないようにだけ、はっきりと明記していただきたい。

○会長

ご指摘の通り、利用案内にも試験運行だという旨を記載するべきだと思うし、ポスターの方にもスペースの問題もあるが検討いただいて、試験運行というのがどうしたら残っていくのかということ、利用してくださいという旨をお書きいただきたいと思う。

○委員

チラシが地域に、自治会にも届くのはいつ頃なのでしょう。まだはっきりと決まっていないのでしょうか。もし届くときまでに開始日がわかれば、2月中旬というよりも、はっきり日にちがほしい。日にちは大体内定しているのか。

○会長

この後のその他のスケジュールにもあるが、そのあたりは、運輸局さんの方に、最後は事務局にお聞きすると思いますが、運行日が決まれば、ポスターに載せていきたいと思いますということかと思うが、いかがか。

○委員

後ほどのスケジュールにもあるが、現状では届出・運行準備という段階化と思っている。この2月中旬について、日付は事務局で考えていただき、支局にご相談いただいて、そこからスケジュールを逆算して、認可申請の届け出をしていただく形になると思うので、またご相談をいただければと思う。

○会長

チラシには基本的に日付を書いていくということによろしいか。

○事務局

チラシの配布時期については、まだ明確に決まっていますが、自治会長の方々とも相談させていただいて、できれば配布の際には日にちが入っている方がいいと思いますので、日にちが入るように考えていきたいと思っています。

○委員

2月中旬に運行開始ということで、チラシの配布に回覧板を利用するとなると、遅くとも1月の中旬から20日までに自治会長の手元に届かないとしんどい。各自治会長さんの手元に届いて、各家庭に配布されるのは、代替10日から2週間ぐらいかかる場合が多い。できるだけ早めに届けていただきたい。

千里山東、松が丘や月が丘などその地域の人が通勤通学のために緑地公園駅まで朝、自家用車で送迎している家庭が結構多い。特に送る方が多い。今回のルートでメリットがあるのが千里山駅東口から、緑地公園駅まで乗るコースが住民にとっては、いいコースだと思っているので、必ず東の方にも広範囲にチラシ等を撒いていただきたい。

○事務局

東側の方も周知徹底を行っていきたいと思う。

《資料5を説明》

○会長

バスの車両も目途がたち、バス停の工事をかけていくということで、2月中旬にはバスを動かしていける状況にあるということです。次回の第8回が2月の運行前くらいに開催し、運行内容について皆様に再度ご確認をいただくということによろしいか。

○事務局

はい、結構です。運行ダイヤ等確認いただいて、再度周知しますが、現時点では1月31日に第8回を予定している。

○会長

また、皆様のご参加をお願いしたい。

○委員

沿道住民に周知徹底を先ほどするということでしたが、具体的にはどういう形で江坂3丁目、4丁目の方にチラシ等が届くのか教えていただきたい。私たちは実証実験のとき、各マンションに置かしていただけるように運動をしてきましたので、今回はどうするのかお聞きしたい。

○事務局

基本的には、江坂3丁目、4丁目の自治会長さんと相談させていただいて、巻いていくということになるかと思う。

○会長

できる限りバスのことを知っていただき、乗っていただけるよう調整していただければと思う。

4. 閉会

○事務局

第7回吹田市地域公共交通会議閉会のあいさつ。